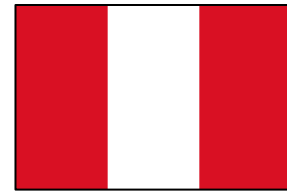


セチュラの風だより

2019年10月 第七号



日本語弁論大会の審査員！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

気持ちのいい秋風が吹き渡るころとなりました。今回は、8月24日(土曜)にペルー・クスコ県で行われた第8回クスコ日本語弁論大会について紹介したいと思います。当日は、ペルー人の学生達が日頃の学習の成果を日本語で発表し、その審査員を行って来ました。

日本語を学ぶペルーの学生達！

今回はシニア隊員が働く日本語学校の弁論大会の審査員のお手伝いをしてきました。20人の学生達が学習歴ごとに分かれ、事前に作成したテーマに合わせ、2分程度日本語で発表をしました。今回の最優秀者には首都のリマの日本語弁論大会への出場権と渡航費が出ます。最優秀者は、「日本の武士や侍について」歴史的背景を含め、流暢な日本語で発表していました。

今回の経験を活かし、セチュラの学生達にも日本の文化や自然環境等を紹介したいです。



ペルー・クスコ県ってどんな街？

今回は開催地、クスコについて紹介します。ペルーの南東クスコ県にあり、首都から飛行機で約1時間半、アンデス山脈中の標高3,400mにある、人口約30万人の街です。地名の由来は、ケチュア語で「へそ」を意味し、インカ帝国の首都で、文化の中心でした。マチュピチュ、ウマンタイレイク、レインボーマウンテン等を有す観光地です。オススメは、標高5000mのレインボーマウンテンです。現在、隊員2名活動しています。



レインボーマウンテン